

# 中施策評価書

作成日 令和07年 4月 22日

中施策事業名	議会広報広聴事務	部課名	議会事務局・議事課
		作成者	深草 広治

①めざすまちの姿	26 市民にとって必要な情報が提供され、行政が取り組んでいることが市民に分かりやすい
②大施策	市民にとって必要な情報や行政の取り組みを市民に分かりやすく提供する
③中施策	市民にとって必要な情報を分かりやすく提供する
④中施策事業の対象	市内在住、在勤、在学者及び市議会議員
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市民に議会の活動内容が伝わっている また、議会にも市民の声が伝わっていて、考える機会となっている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・本会議及び委員会の傍聴に関すること ・議会だよりの原稿及び編集委員会に関する こと ・議会だよりの校正及び配布に関すること ・ホームページに関すること ・議 会放映に関すること

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
本会議、委員会の 傍聴者数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	440	440	440	0	0	0
	実績値	346	193				
単位	人						
議会の情報が十分 に得られていると 思う市民の割合	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	32	33	34.8	0	0	0
	実績値	25.7	29				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			7,035千円	7,576千円	
人 件 費	a 事業費合計		7,035千円	7,576千円	7,907千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計			0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			7,035千円	7,576千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			102円	110円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果	
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△
	重点をおく指標は妥当でしたか	指標の内容を見直す必要がある	△
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△ B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△ B

## ■総合評価

B 上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	指標とする傍聴者数は減少傾向にある。一方で、以前より継続してきたYouTubeでの本会議、委員会の閲覧数については前年度10%程度の伸び率である。議会だよりの一新による一定の効果が、閲覧数が伸びてきた要因として考えられる。（広報とよあけとの合冊、フルカラー、一般質問ページからQRコードでのYouTubeへの誘導）YouTube等での議会の情報が提供できているため、議会に足を運ばずとも情報が提供される状況が整い、傍聴者の人数は減ってきてていると思われる。また、今年度は団体別意見交換会の実施や、e モニター制度によるアンケート等傍聴者の増加につながる取り組みを行った。
----------------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	令和6年度に議会だよりの一新に伴いe モニター制度によるアンケートを実施したため、その結果を分析し、更なる改善の検討が必要となる。（アンケート回答数：161名）議会のペーパーレス化に伴い、会議録作成等にかかるコスト削減の見直しが実施可能である。最小の経費で最大の効果を上げられるよう改善を図る。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	会議システムやグループウェアの運用を固め、議会に係る市全体のコスト削減等の改善を図る。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和07年 6月 6日

中施策事業名	行政視察・政務活動事業	部課名	議会事務局・議事課
		作成者	深草 広治

①めざすまちの姿	40 市長や議会、行政は、まちを良くしていくために外からの知識を吸収し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている
②大施策	まちを良くしていくために情報を収集し、失敗を恐れずチャレンジする
③中施策	常に情報を収集し、学ぶ環境をつくる
④中施策事業の対象	市議会議員
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	議員が本市政策についての提案に資するため、先進事例を調査研究し、一般質問をしている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・政務活動費に関すること ・行政視察の受け入れに関すること ・行政視察及び合同研修会に関すること

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
議員からの施策や 条例提案件数		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
		目標値	10	10	10	0	0
		実績値	8	11			
単位	件	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
		目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0	0			
単位	件	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			2,613千円	2,273千円	
人 件 費	a 事業費合計		2,613千円	2,273千円	7,375千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計			0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			2,613千円	2,273千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			38円	33円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果	
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△
	重点をおく指標は妥当でしたか	指標の内容を見直す必要がある	△
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△ B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△ B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 先進事例を研究したことを評価するのが困難なため、議員提出議案数を評価指標としている。 政務活動費の執行率が減少し、議員活動の内容が評価しづらくなっている。行政視察の受入れ時期や受入れ基準を明確化することで、議会事務局の事務効率化が図れた。委員会の行政視察を年1回実施し、先進的な取組を調査研究し、一般質問等に生かされていた。
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	行政視察の実施に向けた、調査・サポートを行う。 政務活動費の適切な執行のための、調査研究を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	所管事務調査実施に向けた、手順等の協議検討。 研修会の案内や実施など、情報を収集し、学ぶ環境を整える。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等